



三小だより

4月号 令和6年 4月8日発行
横浜市立港南台第三小学校 学校だより
電話 833-0251
FAX 833-9204

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohandai3/>

こどもたちへ

～ぜんりよく あげて がんばって ぜんりよく あげて たのしんで～

校長 日暮 勤

桜が満開の4月、新しい年度のスタートです。朝から学校に子どもたちの「おはようございます」の元気な声が響いています。子どもたちや教職員の笑顔から、この学校の明るさが伝わってきます。

4月にこの港南台第三小学校校長に着任し、子どもたちとの出会いを楽しみにしていました。保護者の皆様や、まち(地域)の皆様との出会いもとても楽しみです。今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日、43名の新生が入学しました。私には小学校生活のスタートを切ったこの1年生と、進級した2年生から6年生に読み聞かせたい本があります。童謡「ぞうさん」や「やぎさんゆうびん」などで知られる詩人、まど・みちおさんがふるさとの小学生にあてた「まどさんからの手紙 こどもたちへ」という本です。

この本の中で84歳のまどさんは小学生に「私もがんばるけれど、たいしたことはできないけれど」

みなさんが いま ぜんりよくを あげれば それは もう できないことはありません。

とこの手紙を書き始めます。

遊びでも 勉強でも お手伝いでも 元気いっぱいになると毎日が楽しくなる。

苦しいことやつらいことをひとつずつ乗り越えれば、うれしい楽しいことになる。

それをくり返して自分のなりたいような大人、大好きな大人になる。

と「ぜんりよく」をあげて前向きに生きるよさや大切さを示し、さらに

「先生もお母さんもお父さんも世界中の大人も、地球や宇宙もそう生きてくれることを願っている」と小学生に向けた大きな期待が伝えられます。

その大きな期待は今の大人では直しきれない「食べ物がなくて死にそうな人」「戦争」「動植物の減少」等の地球全体の危機を「大人になって直してほしい」と願っています。「子どものうちに毎日元気いっぱい楽しくがんばることを習慣づけること」で力をつけ、「けんかしても仲直りして大事なことはみんなで力を合わせてやること」で友だちとつながり合って願いを達成するのです。そんな自分たちの存在とその可能性に気づき、意識を高めた最後に



小学生は うまれてはじめての がっこうで たった一かきりの すばらしい「とき」です。
すっごい「とき」です。ぜんりよく あげて がんばって ぜんりよく あげて たのしんでください。
じゃあね!

と、結ばれています。

まどさんの思いにある「全力でがんばって楽しむ子どもたち」は自尊感情を育み、自他を大切にしながら、つながっています。これは私が小学校で育てたい子ども像です。職員と共に子どもたちとつながり、子どもたち同士のつながりを育みたいという思いです。保護者の皆様、地域(まち)の皆様と一緒に、子どもたちのすばらしい「とき」をつくっていきたいと思います。